

Vol.77

石狩開発 株式会社

ISHIKARI DEVELOPMENT CO. LTD

編集発行／営業推進部

北海道石狩市新港西 1-721-11

TEL 0133(72)2300 FAX 0133(72)4055

<http://www.ishikari-dev.co.jp>

石・狩・湾・新・港・地・域 SAPPORT NEWS

●産業拠点● SYNERGY = SAPPORO × PORT × INDUSTRY

石狩湾新港地域、 新たなステージへ

本年4月22日に道内2倉庫
店目となる「コストコホール
セール石狩倉庫店」が石狩市
新港南2丁目にオープンしま
した。

コストコホールセールは、
高品質な商品とサービスをで
きる限りの低価格にて提供し
ている会員制倉庫型店で、国
内外からの様々な商品のお買
い物を楽しむことができます。
日本国内で30倉庫店（2
021年7月現在）、全世界
で813倉庫店を展開し、会
員者数は約1・1億人を誇り
ます。



▲オープン時のテープカットの様子

コストコホールセール 石狩倉庫店オープン



▲コストコホールセール石狩倉庫店全景



▲店内の様子①



▲店内の様子②

石狩倉庫店では約
6万6000㎡の広大な敷
地に売場面積約1万500
㎡の店舗と道内初となる約
2800㎡のガソリンスタ
ンドが併設され、814台の
駐車場が設置されています。
オープンからの4日間は
混雑緩和の為「会員の苗字」
による入場制限が行われる
なか、開店日の前日から並ぶ
会員様が多数おり、午前8時

のオープン時間から2時間前
倒しをして午前6時にオープ
ニングセレモニーが行われま
した。
現在、石狩湾新港地域には
8軒のコンビニエンスストア
が営業中ですが、大型の商業
施設の店は初めてとなりま
す。今後、石狩湾新港地域へ
の新たな商業施設の進出が期
待されます。

自動配送ロボット、 実用化に向けた 実証実験始まる



▲自動配送ロボットの实証実験の様子

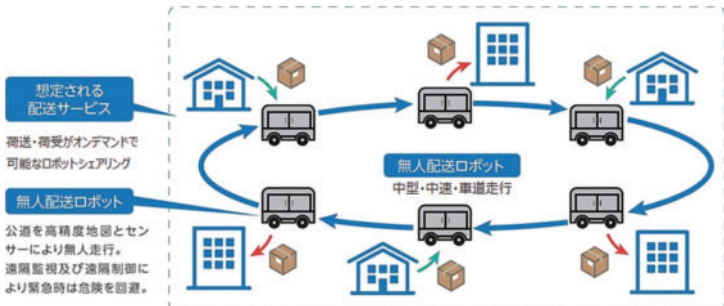
石狩市および京セラコミュニ
ケーションシステム株式会
社（本社：京都府京都市 以
下KCCS）は、石狩湾新港
地域の一部エリアの公道に
て、8月中旬からおおよそ1ヶ
月の予定で自動配送ロボット
の実証実験を開始しました。

石狩市および京セラコミュニ
ケーションシステム株式会
社（本社：京都府京都市 以
下KCCS）は、石狩湾新港
地域の一部エリアの公道に
て、8月中旬からおおよそ1ヶ
月の予定で自動配送ロボット
の実証実験を開始しました。

運送・物流業界における慢
性的な人員不足に加え、新型
コロナウイルス感染症の拡大
により顕在化した宅配需要の
急増やラストワンマイルにお
ける人手不足を背景に、自動
配送ロボットを活用した新た
な配送サービスの早期実現に
向けた政府の方針が示された
のを契機として、各都府にお
いても、様々な規制緩和がな
されました。

本実証実験は、KCCSが
新エネルギー・産業技術総合
開発機構（NEDO）の「自動
走行ロボットを活用した新た
な配送サービス実現に向けた
技術開発事業」に応募し、採
択を受けたもので、自動配送
ロボットによる走行と利便性、
効率性、社会受容性の評価を
目的とした、一般車両と混在
して公道（車道）を走行する国
内初の試みです。コロナ禍に
おける「遠隔・非対面・非接
触」配送の実現と、地域の利
便性向上、将来の輸送人員不
足の解決に向けて、無人配送
ロボットのシェアリング型サ
ービス実現を目指しています。
オリジナルのペイントが施
された、ミニカー（長さ2・
5以下×幅1・3以下×
高さ2・0以下）に準じた
大きさの車体には、大中小の
各サイズで構成されたロッ
カーが搭載されており、配送
物の集荷依頼から集荷、ロッ
カー開錠、受取りまでの一連
の流れを、スマホアプリを活
用し「遠隔・非対面・非接触」
にて実施されています。

石狩湾新港地域は、札幌圏
の経済活動の重要地域であり
ながら、将来的な輸送人員の
不足も予想されており、本実
証実験における新たな配送
サービスの仕組みは、将来に
向けた配送課題解決の糸口と
なることが期待されています。



▲シェアリング型配送サービスのイメージ



▲ニトリホールディングスの石狩 DC 予定地



▲北海道レンタルシステムの仮設資材倉庫

石狩湾新港地域内は様々な大型施設の建設工事により活況を呈しています。
ニトリグループ物流網再構築の第一歩となる(株)ニトリホールディングスの石狩 DC(仮称)※(株)トウンの大型物流施設「TLP 札幌」、大槻食材(株)の大型物流センター、北海道レンタルシステムの仮設資材倉庫、(株)大果の野菜カット工場等、

大型施設建設工事 着々と

現在着々と工事が進められています。
また、物流施設の他にもエネルギー関連施設等、地域内では数多くの建設工事が槌音高く行われ、各方面からの注目を浴びています。

※DC: Distribution Center (在庫保管型物流センター)の略称



▲トウンの TLP 札幌



▲大槻食材の大型物流センター

◆ 企業紹介 ① ◆

(有)丸富通商 札幌支店 TEL 0133-77-5843

(有)丸富通商(本社北見市、代表取締役 高野 基緒)は2013年に石狩湾新港地域に進出し、本年7月に新たに銭函4丁目に札幌支店倉庫を開設しました。同社は、農産物(人参・いも・玉ねぎ・さつまいも等)の輸送を中心とした総合物流企業で、2000年の創業開始以降、「地方部は物量が少ない上、面積が広く、人材確保も難しいため輸送が困難」といった声が増えていくなか、道内地方部の輸送網整備を積極的に進め、現在、北見・札幌・登別・苫小牧・旭川・中標津の道内6カ所に支店を開設し事業の拡大を続けております。同社では、「時代に応える。北海道を元氣な未来へ運ぶ。」をスローガンに、70台以上の豊富な車両を用いて、道内輸送はもとより、北海道と本州の各方面を結んでいます。



▲7月にオープンした札幌支店の営業倉庫

◆ 企業紹介 ② ◆

(株)トリパス 石狩工場 TEL 0133-73-8585

新港西3丁目に石狩工場を構える(株)トリパス(本社 札幌市清田区、代表取締役 杉本 光崇)は、半導体製造装置の部品加工、除雪車やトラック、食品機械や農業機械、住宅・道路資材など、さまざまな業界の金属部品加工を手掛けるものづくり企業です。創業から75年を迎え、地域未来牽引企業※にも選定された同社では、最新鋭機器と匠の技で、金属加工のCAD設計からレーザー切断・曲げ・機械加工・溶接・塗装までを完全一貫体制で行い、2019年からは新事業「TRIPATH PRODUCTS」を立ち上げ、焚き火台をはじめとした自社ブランド製品をリリースするアウトドアグッズメーカーとしても注目を集めています。また、2021年からはメーカーやユーザーに向けた板金加工のお悩み解決型サイト「BANKIN LABO」を開設、加工ノウハウに基づいた提案をオンラインで推進しています。※ 経済産業省により選定された、地域経済の中心的な担い手となりうる企業のこと



▲開発例(ホームセンター向けダストボックス)



▲分譲予定位置図

<分譲概要>

所在地：小樽市銭函4丁目内
区画面積：2,000㎡～約5万㎡(面積はご相談下さい)
用途地域：準工業地域、建蔽率60%、容積率200%
分譲価格：1万2,000円/㎡(3万9,670円/坪)

新造成地は令和4年4月の分譲開始を予定しており、分譲価格は坪あたり1万2,000円(坪あたり3万9,670円)で、分譲面積は200㎡～約5万㎡と多様なニーズに対応できる区画となっております。お問い合わせ先：石狩開発(株) 営業推進部 TEL 0133-72123000 (左図参照)。

石狩湾新港地域の土地の開発・造成・分譲を行う、石狩開発(株)(代表取締役社長 豊岡 孝章)は、石狩湾新港地域内外の企業から、札幌中心部へのアクセスに優れたエリアでの分譲用地を望む声が多数あることを受け、令和3年度より小樽市銭函4丁目画の隣接地で、札幌市手稲区・西区・北区を横断し、札幌市中心部を結ぶ、新川通(道道125号前田新川線)から約700mの距離に近接する約16万㎡です(左図参照)。

石狩湾新港地域内に新たな分譲用地が誕生します
小樽市銭函4丁目新造成第2期工事